

子育てを楽しんでいるとき

母親はどのような場面で子育てを楽しんでいると感じたり、子どもがいてよかったと思うのだろうか。ここでは12の場面の子育ての楽しさについて、「とてもそう思う」「ややそう思う」「あまりそう思わない」「ぜんぜんそう思わない」の4段階でたずねた。

子どもからの思いやりのある言葉や態度が一番(図1-9)

「とてもそう思う」の割合の高い順にみると、第1位「子どもが思いやりのある言葉や態度を示してくれたとき」89.9%、第2位「子どもが成長したことを感じる時」83.2%、第3位「子どもの寝顔を見ているとき」82.7%、第4位「家族みんなで遊んでいるとき」74.6%、第5位「子どものスポーツの試合や音楽の発表会を観ているとき」57.6%となっており、母親が直接的に子育てにかかわっている場面や母親自身が自分の成長を実感することよりも、子どもからいたわってもらったり、子どもの成長ぶりを客観的にみられる場面で、子育ての楽しさや子どもの存在のうれしさを感じていることがわかった。

子育ての楽しさの学年による推移(表1-6)

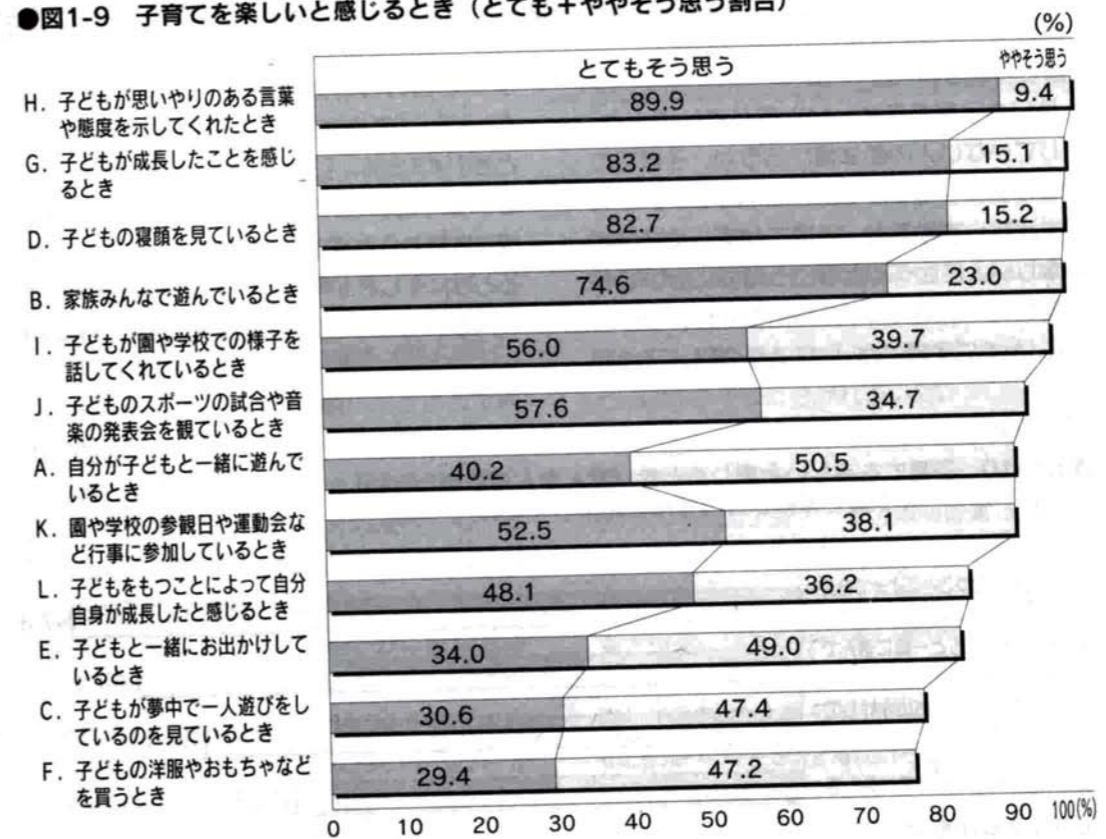
「とてもそう思う」の割合が学年が上がるにつれてどう変わっていくのかをみてみた。学年が上がると、数値も上がる傾向にある項目は「子どもと一緒に出かけしているとき」。逆に数値が下がる傾向にある項目は「子どもが一人遊びをしているのを見ているとき」「子どもの寝顔を見ているとき」「子どもが園や学校での様子を話してくれているとき」だった。また、それぞれの学年ごとに

「とてもそう思う」の割合(上位5位)をみると、年少児・年中児の第5位は「子どもが園や学校での様子を話してくれているとき」だが、年長児になると第5位は「子どものスポーツの試合や音楽の発表会を観ているとき」になる。本調査の結果によると、習い事を始める時期は4歳および、その前後が多く、発表会の時期が年長児頃に増えることと関連していた。また、園児時代は第2位だった「子どもの寝顔を見ているとき」が小学校に上がると第3位になり、逆に園児時代には第3位の「子どもが成長したことを感じる時」が小学校で第2位になっていた。

出生順位・母親の就業状況別の結果

第1子の母親のほうが「とてもそう思う」割合が高い項目をあげると、「子どもの洋服やおもちゃなどを買うとき」(第1子32.3%>第2子以降26.0%、6.3%差)、次いで「子どもが一人遊びをしているのを見ているとき」(第1子33.3%>第2子以降27.5%、5.8%差)だった。また、母親の就業状況別に「とてもそう思う」の割合をみると、「子どもと一緒に遊んでいるとき」【専業主婦38.7%<パートタイマー40.7%<常勤者45.2%(専業主婦とパートタイマーの差2.0%、専業主婦と常勤者の差6.5%)】と、「子どもが園や学校での様子を話してくれているとき」【専業主婦54.1%<パートタイマー57.2%<常勤者60.5%(専業主婦とパートタイマーの差3.1%、専業主婦と常勤者の差6.4%)】の2項目は就労時間が長くなるにつれて数値が高くなる傾向があるが、それ以外は、あまり差がなかった。

●図1-9 子育てを楽しんでいるとき(とても+ややそう思う割合)



●表1-6 子育てを楽しんでいるとき(とてもそう思う割合)×学年

	年少児	年中児	年長児	小1生	小2生
A. 自分が子どもと一緒に遊んでいるとき	39.1	36.7	39.7	40.8	44.7
B. 家族みんなで遊んでいるとき	④74.5	④71.7	④75.2	④75.4	④75.5
C. 子どもが夢中で一人遊びをしているのを見ているとき	34.9	31.8	30.3	24.8	27.0
D. 子どもの寝顔を見ているとき	②85.6	②83.8	②84.5	③80.1	③79.3
E. 子どもと一緒に出かけしているとき	31.0	31.7	32.9	35.7	39.1
F. 子どもの洋服やおもちゃなどを買うとき	33.0	28.3	29.2	27.3	27.3
G. 子どもが成長したことを感じる時	③84.5	③82.8	③83.2	②81.8	②84.4
H. 子どもが思いやりのある言葉や態度を示してくれたとき	①91.1	①89.9	①89.2	①89.8	①89.8
I. 子どもが園や学校での様子を話してくれているとき	⑤64.7	⑤57.2	54.7	52.7	54.5
J. 子どものスポーツの試合や音楽の発表会を観ているとき	57.7	55.4	⑤61.2	⑤57.1	⑤58.7
K. 園や学校の参観日や運動会など行事に参加しているとき	56.5	53.5	54.6	53.9	48.3
L. 子どもをもつことによって自分自身が成長したと感じるとき	48.4	44.7	51.7	46.8	53.0

● 毎日の子育てを楽しんでいる母親は、子育てを通じて自分の成長を感じられない (図1-10)

毎日の子育てを楽しんでいる人と、感じていない人の差は何だろうか。子育ての楽しさについて聞いた12の場面について両者を比較してみると、子育てが楽しくない人は楽しい人比べてどういう場面においても子育ての楽しさを感じる割合が低い (図省略)。とくに子育てが「ぜんぜん楽しくない」

人に焦点をあてて、12の場面の「そう思わない」割合をみると、「子どもをもつことによって自分自身が成長したと感じるとき」47.8%、「自分が子どもと一緒に遊んでいるとき」43.5%、「子どもと一緒に出かけしているとき」39.1%の割合が高い。自分の成長を感じられず、子どもと直接かかわっているときに楽しさを見いだせない母親ほど子育ての楽しさを感じられないという結果だった。

● 図1-10 子育てを楽しんでいるとき (ぜんぜんそう思わない)
× 子育ての楽しさ (ぜんぜん楽しくない)

